

【財政健全化判断比率】

区分	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準	(参考)県内5市平均
実質赤字比率	— ㊦	11.83 ㊦	20 ㊦	—
連結実質赤字比率	— ㊦	16.83 ㊦	30 ㊦	—
実質公債費比率	14.2 ㊦	25 ㊦	35 ㊦	15.1 ㊦
将来負担比率	85.7 ㊦	350 ㊦	—	120.0 ㊦

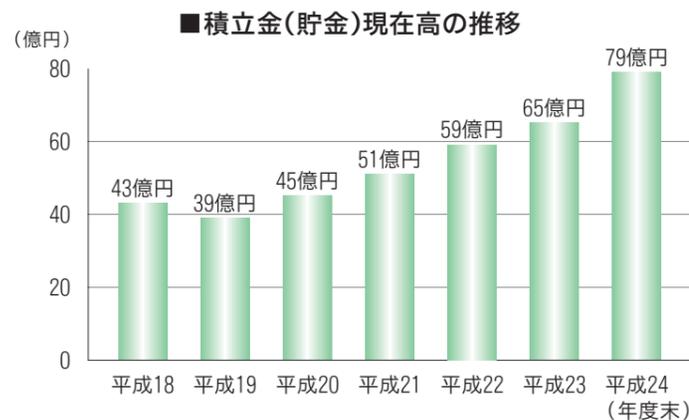
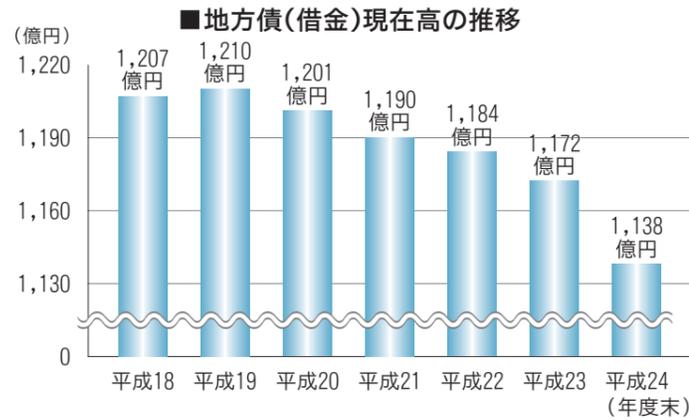
【資金不足比率】

会計名	花巻市	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	— ㊦	20 ㊦
下水道事業	— ㊦	20 ㊦
農業集落排水等汚水処理事業	— ㊦	20 ㊦
上水道事業	— ㊦	20 ㊦

注1…表中、各基準は国が示した数値です
注2…赤字額、資金不足がない場合は「— ㊦」で表しています
注3…県内5市平均は、国道4号沿線の盛岡市、北上市、奥州市、一関市、花巻市の平均です

用語解説 (健全化判断比率など)

▶実質赤字比率／普通会計(一般会計など)の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計(普通会計・特別会計・企業会計)を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費による財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率



財政状況

全項目で健全化基準をクリア

財政状況が良好かどうかを示す指標に財政健全化判断比率(4分類)と資金不足比率があります。国が示した、この指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期

健全化団体(要注意状態)」「財政再生団体(破たん状態)」のいずれの状態にあるのか、また、各会計の経営状態はどうかを判断することができるとのことです。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると

借金は減少、貯金は増加
本市の地方債(借金)の現在高は、合併直後の平成18年度末と比較して、およそ69億円減少しています。一方、積立金(貯金)の現在高は、同年度末と比較して、およそ36億円増加しています。

決算などについて、詳しくは
決算や財政状況の詳細については、本庁財政課へ問い合わせください。
平成24年度決算書は、同財政課や各市立図書館に備え付けているほか、市ホームページからもご覧になれます。
市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります。

【特別会計決算の総括表】

会計名	歳入	歳出	差引(残)額
国民健康保険	103億 309	98億6,066	4億4,243
後期高齢者医療	17億3,230	17億2,838	392
介護保険	88億7,679	87億2,872	1億4,807
老人保健施設事業	3億4,225	3億3,188	1,037
公設地方卸売市場事業	6,034	5,855	179
下水道事業	39億4,754	38億7,976	6,778
農業集落排水等汚水処理事業	13億4,377	13億 80	4,297
合計	266億 608	258億8,875	7億1,733

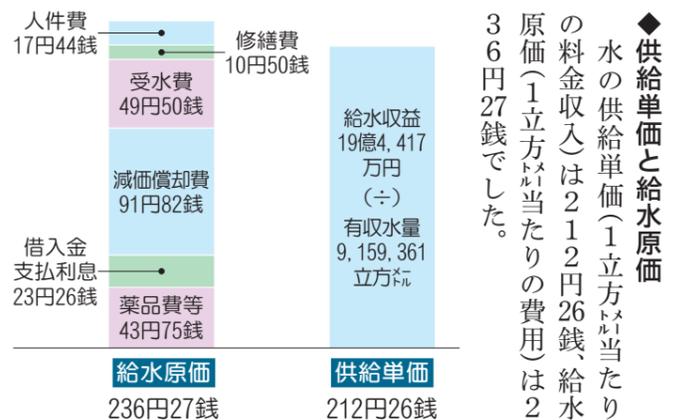
市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」があります。特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

特別会計
七つの特別会計の決算

- ◆国民健康保険
加入者が納める国保税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保険事業を実施。平成24年度の被保険者は2万5441人で、平成23年度と比較して658人(2.5%)減少しました。
- ◆後期高齢者医療
後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種の申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました。事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています。
- ◆介護保険
介護保険料や国・県・市の負担金などを主な財源として、介護サービスを提供。平成24年度の要介護などの認定者5757人のうち、4741人(82.4%)が介護サービスを利用しました。
- ◆老人保健施設事業
介護給付費収入などを主な財源として、老人保健施設「華の苑」を運営しました。
- ◆公設地方卸売市場事業
施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。
- ◆下水道事業
下水道使用料や国の補助金を主

- ◆収益的収支
1年間の営業活動に係る収入と支出。主な収入は水道使用料。主な支出は施設の維持管理費や借入金の利息の支払いなどです。
- ◆資本的収支
将来の営業活動に備えて行う設備投資に係る収入と支出。主な収入は企業債(施設整備のための借入金)。主な支出は施設の整備・更新費用などです。

企業会計
市は、一般的な行政サービスのほか、水の供給サービスの企業活動を行っています。この企業活動の会計は、経営に必要な経費を自らの収入で賄う「独立採算制」。決算は、次の二つに分かれています。



【上水道事業会計収支の状況】 (単位:万円)

項目	24年度	23年度	
収益的収支(税抜き)	収入	20億5,295	19億 409
	うち給水収益	(19億4,417)	(17億7,489)
	支出	21億6,669	18億7,820
純利益	△1億1,374	2,589	
資本的収支(税込み)	収入	9億1,600	7億1,537
	支出	18億5,529	15億6,216
	不足分	9億3,929	8億4,679

※資本的収支の不足分は、過年度分の留保資金などから補てん